

トマホーク400発購入へ

予算案 年度内成立確実に

岸田文雄首相は27日の衆院予算委員会で、米国製の巡航ミサイル「トマホーク」の購入数について、「400発を予定している」と明らかにした。与野党はこの日、新年度予算案の採決を28日の衆院本会議で行うことと一致。与党の賛成多数で可決され参院に送付される見通し。憲法の規定で年度内成立が確実な情勢になつた。▼4面=一軒公表

トマホークの購入数をめぐりては、「これまで『手の内を語らぬこじしない』としちゃだ。」の田中「闇心が高い。米国で売却する可能性のある最大数量が公表される」ことを理由に公表に踏み切った。單体は「経戦能力などが明らかになる」と説明を避けた。立憲民主党の後藤祐一氏への答弁。

政府は新年度当初予算案にトマホーク購入経費として2113億円を計上している。相手の領域内にあるミサイル発射拠点などを攻撃する「敵基地攻撃」に使われる」と想定している。

一方、自民党の高木毅、立憲民主党の安住淳両国会対策委員長は会談し、新年度当初予算案を28日の衆院本会議で採決する」と合意した。予算案は防衛力強化の関連経費など、総額14兆3812億円。11年連続で過去最大となつている。(松山尚幹、松山紫乃)